

料金後納郵便

JEM
TODAY

事業の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調となったものの、円高による輸出産業への影響、欧州の債務問題や中国経済の成長鈍化による海外経済の後退懸念等により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主たる事業分野である半導体市場も、スマートフォンやタブレット端末向け需要が堅調に推移したものの、世界的な景気後退の影響を受け、多くの半導体メーカーにおいて投資抑制の傾向が強まり、厳しい事業環境となりました。

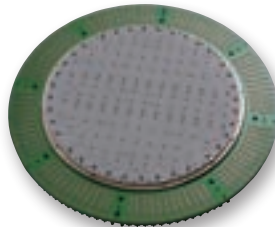
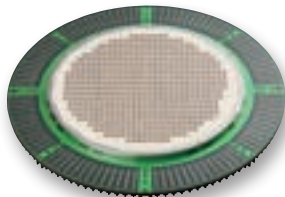
このような事業環境の中、当社グループといたしましては、NAND型フラッシュメモリー等の成長分野の半導体向けを中心にアドバンスプローブカードの拡販を進めました。利益面につきましては、製品の競争力や品質の向上を図りつつ、徹底した原価低減活動に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高30億9千万円(前年同期比9.6%増)、営業利益1億9千2百万円(前年同期は営業損失5千2百万円)、経常利益1億6千万円(前年同期は経常損失6千3百万円)、四半期純利益につきましては、持分法適用関連会社であった同和JEM株式会社を連結子会社化したことに伴い段階取得に係る差損として9千万円の特別損失を計上したことにより、7千5百万円(前年同期は四半期純損失2億4百万円)となりました。

アドバンスプローブカード

Vタイププローブカード

1994年にメモリーIC向け多数個同時測定の垂直型プローブカードの先駆者として市場投入され、シリーズ品を増やすなど、現在も進化し続ける、当社の主力製品です。



Mタイププローブカード

近年メモリーIC向けを中心とした、さらなる微細化、大型化要求に 대응するため、MEMS技術*を用いたプローブカードです。

* Micro Electro Mechanical Systems

トピックス

IEEE SWTW 2012年度

Best Overall Presentation Awardを受賞

このたび、当社はIEEE SWTW (Semiconductor Wafer Test Workshop) に株式会社アドバンテスト(本社:東京都千代田区 社長:松野晴夫)と共同発表した論文で、2012年度「Best Overall Presentation Award」を受賞いたしました。

「Best Overall Presentation Award」とは、SWTWで発表されたすべての論文の中から最も優秀な論文1件に贈られる賞です。本年は全29件の発表論文の中から、「減圧によるコンタクト推力発生方式を用いたウエハー一括試験技術の開発成果」がこの名誉あるAwardを受賞いたしました。

今後も当社は半導体の成長に貢献すべく、技術の開発に邁進してまいります。

*SWTWは、IEEEのコンピューター専門部会が後援するウエハテストに関する唯一の研究討論会であり、各国よりメーカーやサプライヤーが参加し、産業発展のための技術情報交換を行っています。また、IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.) は、世界160ヶ国、40万以上の個人会員を持つ非営利の電気・電子技術者の組織で、国際会議の開催、論文誌の発行、技術教育、規格化などの活動を行っています。



第53回定時株主総会を開催

2012年6月26日(火曜日)、尼崎市、都ホテル ニューアルカイクにて第53回定時株主総会を開催いたしました。多数の株主の皆様にご来場頂き、2つの議案が可決されました。

ご報告の主な内容

- 事業報告 2011年度の業績概要
- 連結計算書類及び計算書類の内容
- 対処すべき課題(今後の事業戦略)

2012年度第1四半期のご報告 2012年4月1日~2012年6月30日 証券コード 6855

BUSINESS REPORT
JEM TODAY

http://www.jem-net.co.jp JEM JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
日本電子材料株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話0120-094-777 (通話料無料)
返 送 先 〒540-8694 大阪東支店私書箱第455号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

①開く

株主様へのお知らせ

JEM TODAYは年4回発行 最新情報をお届けします。

JEM TODAYは毎年4回、四半期ごとに発行しています。
 通期報告・第1四半期報告は3月末現在の株主様へ、第2四半期
 報告・第3四半期報告は9月末現在の株主様へお送りしています。

株式関係のお手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等へお問合せ下さい。
- 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、下記、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金に関するご照会などは三菱UFJ信託銀行にお問合せ下さい。

株主メモ

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 ☎0120-094-777 (通話料無料) ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公 告 の 方 法	日本経済新聞に掲載して行います。

②開く

POSTCARD

第1四半期の情報は、中面をご覧ください。

株主の皆さまへ

ご挨拶

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 2012年度第1四半期を終了いたしましたので、事業の概況
 をご報告いたします。

当第1四半期連結累計期間は、スマートフォンやタブレット
 端末向けに需要が堅調なNAND型フラッシュメモリー等の成
 長分野の半導体向けを中心にアドバンスプロブカードの拡
 販を進めました。利益面につきましては、製品の競争力や品質
 の向上を図りつつ、徹底した原価低減活動にも取り組みまし
 た。その結果、売上、利益ともに、昨年度を上回る結果を得る事
 ができました。

しかしながら足下の半導体市場は、欧州の債務問題や中国
 経済の成長鈍化等による海外経済の景気後退の影響を受け、
 生産調整の実施や多くの半導体メーカーにおいて投資抑制傾
 向が強まる等、予断を許さない状況となっております。

このような事業環境の中ではございますが、当社といたしま
 しては、半導体市場の回復時期に備え、中期計画の重点施策
 である①次世代に向けた新製品開発の強化、②海外販売の強
 化、③原価低減、④企業価値の向上を着実に進め、しっかりと
 力をつけていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、引き
 続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りま
 すよう、何卒よろしく申し上げます。

代表取締役社長

風間 悦男



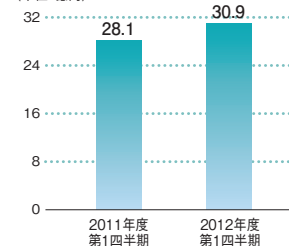
財務サマリー

(単位:百万円)

期 別	2011年度 第1四半期	2012年度 第1四半期
売 上 高	2,819	3,090
営 業 利 益	△ 52	192
経 常 利 益	△ 63	160
四 半 期 純 利 益	△ 204	75
1株当たり四半期純利益(円)	△ 19.31	7.15

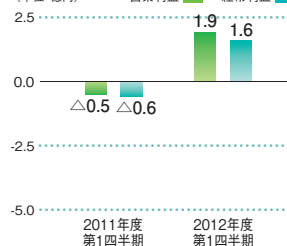
売上高

(単位:億円)



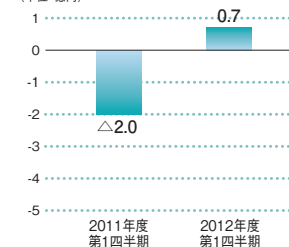
営業利益・経常利益

(単位:億円)



四半期純利益

(単位:億円)



1株当たり四半期純利益

(単位:円)

